

令和元年度  
令和7年度

着 手  
計 画 変 更

# 県営基幹農道整備事業

## 県営土地改良事業計画書

県 名	岐 阜 県
地 区 名	東 白 川
事 業 主 体	岐 阜 県

目 次

第1章	目 的	-----	1	第5章	主要工事計画	-----	14
第2章	地域及び地積	-----	1	第1節	用水施設	-----	14
第1節	地 域	-----	1	第2節	排水施設	-----	14
第2節	地 積	-----	1	第3節	道路及び索道	-----	14
					1. 道路	-----	14
第3章	現 況	-----	2	第6章	附帯工事計画	-----	15
第1節	気象及び海象	-----	2	第7章	工事の着手及び完了の予定時期	-----	15
	1. 一般気象	-----	2	第8章	環境との調和への配慮	-----	15
	2. 特殊気象	-----	2	第9章	換地計画の概要	-----	15
第2節	土地状況	-----	3	第10章	事業費の総額及び内訳	-----	16
	1. 土地、土壌	-----	3	第11章	効 用	-----	17
	2. 土地利用の状況	-----	4	第12章	関連する事業	-----	17
	3. 土地所有の状況	-----	4	第13章	現況・計画図面	-----	17
第3節	水利状況	-----	5				
第4節	道路現況	-----	5				
	1. 道路概況	-----	5				
	2. 主要道路一覧表	-----	5				
第5節	地域農業の概況	-----	6				
	1. 産業別就業人口	-----	6				
	2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数	-----	7				
	3. 動力農機具及び主要家畜頭数	-----	7				
	4. 主要作物作付状況	-----	8				
	5. 農業の動向	-----	9				
第6節	地域環境の概況	-----	9				
第4章	一般計画	-----	10				
第1節	事業計画の要旨	-----	10				
	1. 要 旨	-----	10				
	2. 事業別面積	-----	10				
第2節	営農計画及び土地利用計画	-----	11				
	1. 営農計画の概要	-----	11				
	2. 土地利用区分	-----	11				
	3. 作付方式	-----	11				
	4. 生産計画	-----	12				
第3節	用水計画	-----	13				
第4節	排水計画	-----	13				
第5節	道路計画	-----	13				
	1. 道路及び索道	-----	13				
	2. 路線配置図	-----	13				

## 第1章 目 的

本事業の整備計画区間は、未改良の区間として存在している状況にある。地域内における基幹農道としての利用を図るうえで、安全かつ円滑な通行が可能となるよう全線を通じた1.5車線道路の確保が長年の課題となっていた。

本事業の実施により、長年の課題とされてきた基幹農道における一部未改良区間を改良することで、全区間での全幅員5.0m、有効幅員4.0mを確保し、地域内の農業振興や生活環境の改善、向上を目指す。

## 第2章 地域及び地積

### 第1節 地域

(第1表)

事業名	地 域	備 考
農道整備	岐阜県 東白川村 神土 地内	

### 第2節 地積

(H 30 年 10 月現在)

R 7 年 4 月現在 (第2表)

事業名	現況地目	田	畑		小計	原野	山林	その他			計	備 考
	市町村名	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	
農道整備	東白川村	119.0	41.0		160.0						160.0	この事業計画書に記載の面積は、原則として農地台帳による面積です。
	計	119.0	41.0		160.0						160.0	

注) 1. 「地積」は土地登記簿地積(畦畔地積含む)。なお、換地計画を伴う事業は実測(図上)。単位は県営事業の場合、小数点以下四捨五入。団体営事業の場合、小数点以下2位四捨五入。

2. 「合計」欄は二以上の土地改良事業の重複面積がある場合の実面積(以下各章同じ)。

### 第3章 現況 (変更前)

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	黒川	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H10年～H22年	5月～10月	11月～4月		
平均気温(°C)		19.5	4.3	11.9	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,412.4	696	2,108.4	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	77	64	141	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-	～	-	( - 日間)
無霜期間		-	～	-	( - 日間)
最多風向		南西	最大風速 (風向)	20.7 m/s (東北東)	最多風向発生時期 最大風速発生年月日
					4月～11月 H25.10.16

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
黒川																
観測期間																
H10年～H30年																
最大日雨量 (mm)	245.0	H23.9.20	1/63	185.0	H22.7.15	1/13	142.0	H11.9.15	1/4	120.0	H22.6.20	1/3	116.0	H15.8.9	1/2	参照：気象庁HP
最大時間雨量 (mm)	57.0	H21.7.25		51.0	H22.7.15		45.0	H16.9.21		44.5	H20.8.6		43.0	H26.8.23		参照：気象庁HP
最大4時間雨量 (mm)																
最大連続雨量 (mm)			/			/			/			/			/	
最大連続干天日数 (日)																

### 第3章 現況 (変更後)

#### 第1節 気象及び海象

##### 1. 一般気象

(第3表-1)

観測所名	黒川	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備考
観測期間	H10年～R2年	5月～10月	11月～4月		
平均気温(°C)		19.5	4.3	11.9	参照：気象庁HP
降水量	平均(mm)	1,449.2	725.6	2,174.8	参照：気象庁HP
	基準年(mm)				
降水日数	平均(日)	77	61	138	参照：気象庁HP
	基準年(日)				
根雪期間		-	～	-	( - 日間)
無霜期間		-	～	-	( - 日間)
最多風向		西南西	最大風速 (風向)	22.1 m/s (東)	最多風向発生時期 1月～4月、7月～12月 最大風速発生年月日 H30.8.24

##### 2. 特殊気象

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
黒川																
観測期間																
H10年～R7年																
最大日雨量 (mm)	245.0	H23.9.20	1/51	227.5	R3.8.14	1/34	185.0	H22.7.15	1/13	174.0	R5.6.2	1/10	162.0	H30.7.5	1/7	参照：気象庁HP
最大時間雨量 (mm)	57.0	H21.7.25		51.5	R5.8.21		51.0	H22.7.15		50.0	R6.9.12		48.5	R1.10.4		参照：気象庁HP
最大4時間雨量 (mm)																
最大連続雨量 (mm)			/			/			/			/			/	
最大連続干天日数 (日)																

第2節 土地状況  
1. 地形、土壌

(第4表-1-1)

事業名	田							畑・その他							受益地標高		備考	
	傾斜区分	1/1000	1/1000	1/100	1/20	1/11.5	計	3°以下	3°～8°	8°～15°			15°～20°	20°以上	計	最高(m)		最低(m)
		以下	1/100	1/20	1/11.5	以上				8°～10°	10°～15°	15°～20°						
農道整備	面積 (ha)				119.0		119.0	41.0						41.0	695	270		
	比率 (%)				100		100	100						100				

注) 「畑・その他」欄は開畑に係る傾斜が8°～15°の場合8°～10°、10°～15°に区分。既耕地を対象とする事業は8°～15°。

(第4表-1-2)

項目 土壌統(区)名	土 壤 統 (区) 区 分 一 覧 表								面 積 (ha)				備考	
	土 壤 断 面								事 業 名					
	色	腐植	礫層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 グライ層	堆積様式	母材	農道整備	合計		
					表土	下層土								
一層					二層	三層								
西山統	灰色青灰	無	無	無	SCL	CL	LiC	作土直下よりグライ層	水積	非固結水成岩	18.0		18.0	D32
善通寺統	灰褐灰褐	無	無	有	FSL	FSL	FSL	無	水積	非固結水成岩	29.0		29.0	G63
新野統	灰色黄褐	無	無	有	CL	SCL	LiC	無	残積	非固結水成岩	17.0		17.0	I82
柏山統	灰褐礫層	無	有(30cm以内)	有	SCL	礫層		無	水積	非固結水成岩	53.0		53.0	J90
深井沢統	黒色黒色	全層多腐植層	無	有	SCL	SCL	L	無	洪積	非固結火成岩	2.0		2.0	H71
新地統	黄褐黄褐	無	礫層(30～60cm以内)	無	CL	SCL	礫層	無	残積	非固結水成岩	22.0		22.0	
日面統	黄褐黄褐	無	礫層(30～60cm以内)	無	LiC	HC	礫層	無	残積	非固結水成岩	12.0		12.0	
谷汲統	灰褐灰褐	無	有(30cm以内)	無	CL	CL	礫層	無	崩積	非固結水成岩	7.0		7.0	
計											160.0		160.0	

注) 「土壌統(区)名」欄は水田にあっては施肥改善事業における土壌区、畑・未墾地にあっては地力保全事業における土壌統。

(H 30 年 10 月現在)  
R 7 年 4 月現在 (第 4 表 - 3)

2. 土地利用の状況

事業名	土地利用区分 市町村名	耕地							採草放牧地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶畑 (ha)	その他の 果樹園 (ha)	小計 (ha)						
農道整備	東白川村	119.0	41.0					160.0					160.0	
	計	119.0	41.0					160.0					160.0	
合計		119.0	41.0					160.0					160.0	

注) 「団体営事業の土地利用状況」は、灌漑排水、圃場整備のうち用水源、排水ポンプを設置する場合。

3. 土地所有の状況

(第 4 表 - 4)

事業名	区分	所有別			共有			法人有			計	備考
		個人有	共有	法人有	共有	共有	法人有	共有	法人有			
農道整備	面積(農地台帳) (ha)	160.0									160.0	この表の面積は、農地台帳による面積です。
	関係戸数 (戸)	(383) 331									(383) 331	
	筆数 (筆)											
	権利関係	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権	所有権	賃貸借権	使用貸借権		
	備考(受益者数)	(383) 331									(383) 331	

注) 「団体営事業」土地所有状況は、農地開発事業の場合。

第3節 水利状況

該当なし

第4節 道路概況

1. 道路概況

地区内の幹線農道における一部区間は、未拡幅の状況にある。

-----  
 国道256号も順次改良が進められている。  
 -----

(別紙現況道路配置図参照) ..... 注) 地区内及び地区外ともBは全幅 ( ) は有効幅員 ( 0.1 m単位)。

2. 主要道路一覧表

(第6表)

NO.	路線名	管理 区分別	延長 (km)	幅員 (m)		構造	改修の 要否	備考
				全幅	有効			
1	国道256号	国	12.5	11.8	6.5	アスファルト	要	
2	県道下呂白川線	県	7.5	7.9	5.5	アスファルト	否	
3	県道恵那蛭川東白川線	県	6.2	4.0	3.0	アスファルト	否	

注) 1. 農道整備、農用地造成、干拓及び区画整備の場合(主要構造物の表も同じ)。

2. 「管理区分別」欄は、国道、県道、市町村道、農道の区分別。延長は地区内での延長。

# 現況道路配置図



第5節 地域農業の概況

(H 30年 10月現在)  
R 7年 4月現在 (第7表-1)

1. 産業別就業人口

項目 市町村名	総数 (人)	農業 (人)	林業 (人)	漁業 (人)	鉱業 採石業 砂利採取業 (人)	建設業 (人)	製造業 (人)	電気ガス 熱供給 水道業 (人)	運輸通信業 (人)	卸売業 小売業 (人)	金融業 保険業 (人)	不動産業 物品賃貸業 (人)	サービス業 (人)	公務 (人)	その他 (人)	備考
東白川村	(1,246) 1,110	(161) 114	(62) 57	(1) 1	(-) -	(195) 177	(264) 253	(1) 2	(16) 17	(153) 118	(3) 4	(2) 1	(316) 279	(72) 87	(-) -	
計	(1,246) 1,110	(161) 114	(62) 57	(1) 1	(-) -	(195) 177	(264) 253	(1) 2	(16) 17	(153) 118	(3) 4	(2) 1	(316) 279	(72) 87	(-) -	
比率 (%)	(100) 100	(13) 10	(5) 5	(0) 0	(-) -	(16) 16	(21) 23	(0) 0	(1) 2	(12) 11	(0) 0	(0) 0	(26) 25	(6) 8	(-) -	

(参考資料：2015国勢調査 小地域集計(総務省統計局) 第11表 産業(大分類), 男女別15歳以上就業者数 一町丁・字等)

参考資料：2020国勢調査 令和2年国勢調査 就業状態等基本集計 第10-3表 男女, 産業(大分類), 職業(大分類)別就業者数(15歳以上)  
- 全国, 都道府県, 市区町村

(H 30 年 10 月現在)  
R 7 年 4 月現在 (第 7 表- 2)

2. 経営耕地広狭別農家数及び主副業別農家数

区分 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数 (戸)											1 戸当たり平均農用地面積 (ha)					主副業別農家数(戸)			備 考	
		0.3 ha 未 満	0.3 ~ 0.5	0.5 ~ 1.0	1.0 ~ 1.5	1.5 ~ 2.0	2.0 ~ 3.0	3.0 ~ 5.0	5.0 ~ 10.0	10.0 ha 以 上	20.0 ha 以 上	自給的 農家	田	畑	樹園地	計	草地	合計	主業	準主業		副業
東白川村	(349) 296	(2) 5	(77) 58	(80) 60	(19) 14	(7) 1	(2) 1	(1) 3	(-) 4	(-) 1	(-) -	(161) 149	(0.39) 0.44	(0.40) 0.45		(0.79) 0.89		(0.79) 0.89	(-) 13	(-) 11	(-) 112	
計	(349) 296	(2) 5	(77) 58	(80) 60	(19) 14	(7) 1	(2) 1	(1) 3	(0) 4	(0) 1	(-) -	(161) 149	(0.39) 0.44	(0.40) 0.45		(0.79) 0.89		(0.79) 0.89	(-) 13	(-) 11	(-) 112	
比 率 (%)	(100) 100	(1) 2	(22) 20	(23) 20	(5) 5	(2) 0	(1) 0	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(-) -	(46) 51	(49) 49	(51) 51		(100) 100		(100) 100	(-) 10	(-) 8	(-) 82	

※主副業別農家数は、前回の計画変更では別項目であったため、変更前は-とする。

※農家総戸数は、経営耕地広狭別農家数の合計数となる。

(参考資料：2015農林業センサス II 農業経営体 3経営耕地面積規模別経営体数、第65次東海農林水産統計年報)

参考資料：2020農林業センサス III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、VI総農家等 1総農家数、II 農業経営体(総数) 3経営耕地面積規模別経営体数、  
第70次東海農林水産統計年報 IV 耕地の部 2耕地面積(市町村別)

(H 30 年 10 月現在)  
R 7 年 4 月現在 (第 7 表- 3)

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

項目 市町村名	動 力 農 機 具								主 要 家 畜								備 考
	田 植 機		ト ラ ク タ ー		コ ン バ イ ン				乳 用 牛		役 肉 牛		豚		採 卵 鶏		
	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (台)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (頭)	経営体数 (経営体)	数 量 (100羽)	経営体数 (経営体)	
東白川村	(22) -	(17) -	(51) -	(45) -	(13) -	(10) -			(x) -	(1) -	(x) x	(5) 4	(-) -	(-) -	(2) x	(6) 2	
計	(22) -	(17) -	(51) -	(45) -	(13) -	(10) -			(x) -	(1) -	(x) x	(5) 4	(-) -	(-) -	(2) x	(6) 2	
100経営体当数量 (台・頭)	(129) -		(113) -		(130) -				(x) -		(x) x		(-) -		(33) x		
所有経営体数の割合 (%)	(5) -		(13) -		(3) -				(0.3) -		(1.4) 1.4		(-) -		(1.7) 0.7		

※農業用機械を所有している経営体数と所有台数は、2020年農林業センサスより調査項目から削減された

(参考資料：2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数)

参考資料：2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数

(H 30 年 10 月現在)  
R 7 年 4 月現在 (第7表-4)

4. 主要作物作付状況

市 町 村 名	東白川村				計	作付割合 (%)	備考
総耕地面積 (ha)	(275) 262				(275) 262		
区分 作物名	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)	作付面積 (ha)		
水 稲	(67) 70				(67) 70	(24) 27	
大 豆	(1) 1				(1) 1	(0) 0	
夏 秋 な す	(1) 1				(1) 1	(0) 0	
夏 秋 ト マ ト	(6) 6				(6) 6	(2) 2	
計	(75) 78				(75) 78	(26) 29	

作付面積は、市町村別の面積が掲載されているもののみ記載。

(参考資料：第64次 東海農林水産統計年報 VI耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VII農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稲(市町村別)、  
(12)大豆(市町村別)、(13)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量)  
参考資料：第70次 東海農林水産統計年報 IV耕地の部 2耕地面積(市町村別)、V農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2)水稲(市町村別)、  
(4)麦類(子実用)(市町村別)、(6)大豆(市町村別)、(8)そば(市町村別)、(18)野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量

(R 30 年 10 月現在)  
R 7 年 4 月現在 (第 7 表-5)

5. 農業の動向 東白川村

項目 区分	農 家		土 地		主 要 作 物		大 家 畜		動 力 農 機 具		その他	地域指定等	備 考				
	B	A (現在)	B	A (現在)	作物名	B	A (現在)	家畜名	B	A (現在)				農機具名	B	A (現在)	
変化の状況 C 年を 100 とする指数	総農家数	(95) 89	(84) 73	耕地	(100) 98	(97) 95	水稻	(93) 99	(92) 106	乳牛	(-) -	(x) -	動力 田植機	(48) 96	(46) -	農振計画 S47. 11 特農 H5. 9 山振 S43. 12 過疎 R3. 4 夏秋なす S52. 12 夏秋トマト H14. 3	A: 令和2年 2020年 農林業センサス B: 平成27年 2015年 農林業センサス C: 平成22年 2010年 農林業センサス
	主業農家数	(102) 100	(93) 57	田	(100) 99	(99) 96	大豆	(38) 14	(13) 14	肉牛	(88) x	(x) x	乗用型 トラクター	(358) 75	(268) -		
	準主業農家数	(78) 43	(74) 20	畑	(99) 97	(96) 93	夏秋なす	(50) 100	(50) 100	豚	(-) -	(-) -	コンバイ ン	(113) 76	(87) -		
	A (H27) R2 (H22)	(87) 86	(63) 68	樹園地	(-) -	(-) -	夏秋 トマト	(100) 100	(100) 100	採卵鶏	(50) 100	(50) x					
	B H27 C (H17) H22	(87) 38	(33) 20							ブロイ ラー	(x) -	(x) -					
変化の理由	・高齢化、後継者不足に加え、他産業への流出発生により減少傾向を示している。		・宅地等への転用、営農リタイアにより減少している。		・高齢化、後継者不足および農地面積の減少に伴い減少している。		・高齢化、後継者不足により減少している。 ・秘匿数値のため不明。		※2020年より統計調査対象から除外されたため数値無し。								

※主業農家数・準主業農家数・副業の農家数は、前回の計画変更では別項目であったため、変更前は-とする。

参考資料： 2020農林業センサス II 農業経営体(総数) 18販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、  
III 農業経営体(個人経営体) 1主副業別経営体数、5年齢階層別の基幹的農業従事者数(仕事が主で、主に自営農業に従事した世帯員数)、VI 総農家等 1総農家数  
第67次 東海農林水産統計年報 V 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VI 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2) 水稻(市町村別)、(6) 大豆(市町村別)  
(15) 野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量  
2015農林業センサス II 農業経営体 14販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、18農業用機械を所有している経営体数と所有台数、  
III 販売農家 1主副業別農家数、12年齢別農業就業人口(自営農業に主として従事した世帯員数)、V 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、  
第62次 東海農林水産統計年報 VI 耕地の部 2耕地面積(市町村別)、VII 農作物の部 1作付(栽培)面積、収穫量 (2) 水稻(市町村別)、(12) 大豆(市町村別)、  
(13) 野菜 ウ野菜指定産地の市町村別作付面積、収穫量及び出荷量  
2010農林業センサス II 農業経営体 12販売目的の家畜等を飼養している経営体数と飼養頭羽数、16農業用機械を所有している経営体数と所有台数、  
IV 総農家等 1総農家数及び土地持ち非農家数、V 販売農家 2主副業別農家数、9年齢別農業従事者数(自営農業に従事した世帯員数)  
第57次 東海農林水産統計年報 IV 耕地の部 1耕地面積、V 農作物の部 1 22年産作付(栽培)面積、収穫量 (1) 水稻、麦類、2 21 年産作付(栽培)面積、収穫量 (1) 大豆、  
(4) 野菜 イ指定産地の生産出荷実績

第 6 節 地域環境の概況

地域は、御嶽山を頂点とする山塊の中にあり、白川およびその支谷が流下している。これらの森林、水環境により地域内には豊かな自然環境が創出されている。

## 第4章 一般計画

### 第1節 事業計画の要旨

#### 1. 要旨

未改良区間に対して既設道路を全幅5.0m、有効幅員4.0の道路へと拡幅改良を行う。

-----

-----

-----

-----

#### 2. 事業別面積

(第8表)

事業名	農道整備							備							合計
	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	水田	普通畑	牧草畑	果樹園	その他		小計	
土地利用区分	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
事業目的	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)	(ha)		(ha)	(ha)
拡幅改良	119.0	41.0					160.0								160.0
計	119.0	41.0					160.0								160.0

注) 1. 「事業目的」欄は用水改良、排水改良、畑地かんがい、区画整理、暗渠排水、客土、農道等の区分。

2. 「事業名」欄は圃場整備、農道整備、農地防災、農用地開発等事業計画名の区分。

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

-----  
 水稲、トマト、茶といった地域の主要作物の生産を中心に組織営農の展開を図り地域農業としての持続的発展を図る。  
 -----

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	耕地							採草放牧地	原野	山林	その他	計	備考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草地 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	小計 (ha)						
農道整備	現況	119.0	41.0					160.0					160.0	
	計画	119.0	41.0					160.0					160.0	
	現況													
	計画													
	現況													
	計画													
計	現況	119.0	41.0					160.0					160.0	
	計画	119.0	41.0					160.0					160.0	

3. 作付方式 該当なし

4. 生産計画

(第9表-3)

事業名	項目		作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当収量 (kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減の内訳 (t)		備考	
			現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当収量増加		
	土地利用区分	作物名															
農道整備	水田	表作	水稻	(88.2) 89.0	(88.2) 89.0	(-) -	(60) 61	(60) 61	(497) 489	(497) 489	(-) -	(438.4) 435.2	(438.4) 435.2	(-) -	(-) -	(-) -	
			夏秋トマト	(2.8) 2.9	(2.8) 2.9	(-) -	(2) 2	(2) 2	(9,704) 9,469	(9,704) 9,469	(-) -	(271.7) 274.6	(271.7) 274.6	(-) -	(-) -	(-) -	
			野菜	(38.9) 39.0	(38.9) 39.0	(-) -	(27) 26	(27) 26	(3,661) 3,174	(3,661) 3,174	(-) -	(1,424.1) 1,237.9	(1,424.1) 1,237.9	(-) -	(-) -	(-) -	
		裏作															
	普通畑	春夏作	茶	(16.3) 16.3	(16.3) 16.3	(-) -	(11) 11	(11) 11	(442) 351	(442) 351	(-) -	(72.0) 57.2	(72.0) 57.2	(-) -	(-) -	(-) -	
		秋冬作															
		計		(146.2) 147.2	(146.2) 147.2	(-) -	(100) 100	(100) 100	/	/	/	(2,206.2) 2,004.9	(2,206.2) 2,004.9	(-) -	(-) -	(-) -	
		合計		(146.2) 147.2	(146.2) 147.2	(-) -	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	

注) 「作付面積の合計」欄の () は実面積、外は延べ作付面積。(△は減を示す。)

※作付率は、地元聞き取りによる

※単位面積当収量：第67次～第71次東海農林水産統計年報 東白川村 水稻 収量より算定

：農業生産に関する資料 東白川村(可茂農林提供) 夏秋トマト、野菜(夏秋なす)、茶 収量より算定

第3節 用水計画 該当なし

第4節 排水計画 該当なし

第5節 道路計画  
 1. 道路及び索道  
 (1) 道路

(第12表-1)

路線名	項目	幅(有効) (m)	×	延長 (m)	構造	既設道路との関係	備考
東白川		5.0(4.0)	×	1,392	アスファルト	始点 村道 終点 国道	
計				1,392			

注) 1. 「路線名」欄は地区内、地区外に区分。更に、幹線、支線、耕作(小計)に区分。  
 2. 農業事業で規模の大きい「農道橋」を新設、架替える場合及び「農道橋事業」の場合も上記注1で区分。

(2) 索道 該当なし

2. 路線配置図 別紙参照

注) 既設道路との接続関係、計画路線名、幅員の区分。



第5章 主要工事計画

第1節 用水施設 該当なし

第2節 排水施設 該当なし

第3節 道路及び索道

1. 道路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項目 区分	路線名	幅(m) (有効)	延長 (m)	構造	付帯構造物			最急 勾配 (%)	同左の延長 (m)	最小 曲線半径 (m)	備考
					名称	構造	数量 (箇所)				
地区内	東白川	5.0(4.0)	× 1,392	アスファルト	-	-	-	12.0	91		
計			1,392								

注) 1. 「区分」欄は地区内、地区外、更に幹線、支線の区分。  
 2. 「構造」欄は路床改良、舗装厚、材料等、「付帯構造物」欄は暗渠等で道路主要構造物以外。

第6章 附帯工事計画 該当なし

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

1. 工期 (令和5年度)  
 着工予定 令和元年度 完了予定 令和10年度

2. 工事の年度割予定 単位：千円

年 度	全 体	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10
農道	(480,000) 860,000	(70,000) 45,310	(124,000) 50,000	(165,500) 59,999	(81,000) 134,999	(39,500) 89,999	(-) 100,000	(-) 106,447	(-) 91,731	(-) 91,200	(-) 90,315
割合 (%)	(100) 100	(15) 5	(26) 6	(34) 7	(17) 16	(8) 10	(-) 12	(-) 12	(-) 11	(-) 11	(-) 10

第8章 環境との調和への配慮

1. 施工上の配慮
  - ・土工実施に伴う下流域への土砂流出を抑制するため、必要に応じ沈砂池等を設ける。
  - ・コンクリート構造物の最小限化、周辺景観に配慮した切盛面の適切な緑化実施を行う。
2. 田園環境整備マスタープランとの整合性
 

事業実施に際しては、田園環境整備マスタープランにおける環境配慮の方向性に則して行うものとし、計画段階からマスタープラン内容を反映させ、環境に配慮した事業を行う。

第9章 換地計画の概要 該当なし



第11章 効 用

(第27表)

区 分 効果項目	農 道 整 備				
	年 総 効 果 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	年 総 効 果 額 (千円)	年 総 増 加 所 得 額 (千円)	
食料の安定供給の確保に関する効果	(43,149) 45,657	(43,149) 45,657			
農業の持続的発展に関する効果	-	-			
農村の振興に関する効果	(68,931) 76,645	-			
多面的機能の発揮に関する効果	-	-			
そ の 他 の 効 果	-	-			
計	(112,080) 122,302	(43,149) 45,657			(令和元年度) 令和7年度 単価
総 費 用	(1,454,212) 2,641,043				
総 便 益 額	(2,373,123) 3,337,524				
総 費 用 総 便 益 比	(1.63) 1.26				
総 所 得 償 還 率	-				
増 加 所 得 償 還 率	-				

第12章 関連する事業 該当なし

第13章 現況・計画図面

別紙による